

平成6年度 研究サマリー

研究会名称	城東地域の腎臓病の病態と治療研究会	
代表者所属	医療法人社団靱生会メディカルプラザ篠崎駅西口	
代表者氏名	佐中 孜	
研究方法・結果 研究代表者は 1992 年に『慢性腎不全保存期のケア～透析療法を避けるために～』というタイトルの単行本を医学書院から出版し、2005 年には第 3 版にまで増版した後、2013 年に同社から『CKD 早期発見・治療ベストガイド～寛解につながる慢性腎臓病へのアプローチ』を出版した。 日本腎臓学会においても 2009 年に慢性腎臓病診療ガイドラインを公表し、直近では 2023 年に CKD 診療ガイドライン、更に翌 2024 年に CKD 診療ガイドの公開へと続いていることなどが、Stop 慢性腎臓病の実現に寄与していると推察するが、既に指摘したように腎硬化症については依然増加傾向が続いてきている。 そこで、研究代表者は従来からの食事療法を基盤に置いたうえで、AGEs の一つであるペントシジンの測定法の確立に成功したことも手伝って、ペントシジンを指標とした抗酸化療法を加味した治療法を追加、継続したところ、腎硬化症に関しては“Stop 慢性腎臓病”という目標に向かって想像以上の既述のような結果を得たとの感想を持つに至っている（千葉市での千葉県腎臓病協議会「第 35 回腎臓病を考える会」にて発表）。 これらの臨床成績を基盤として、慢性腎臓病（CKD）患者に対する抗酸化抗 AGEs 療法による Stop 慢性腎臓病効果の可能性についての探索的臨床研究の実施を策定した。 この臨床研究は社会福祉法人 仁生社江戸川病院内に設置された倫理委員会に提案し、2024 年 12 月に審査を経て承認された。 我々は、2024. 年 10 月に改訂された世界医師会のヘルシンキ宣言に記された「人の参加を伴う医学研究のための倫理原則」に則って被験者を選定、2025 年 6 月から d-GS という名称のサプリメントの飲用による“Stop 慢性腎臓病”効果を検討する。 d-Gs はケルセチン、コエンザイム Q10、L-カルノシン、フィチンを成分としているサプリメントである。 被験者の選定方針 通院中の外来患者で、次の条件を満たす者。 ① 対象疾患名：慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease； CKD 病期 3a、3b、4、5） ② 選択基準 以下の基準を満たす者を対象とする。 (1) 年齢：20～90 歳、性別、尿たんぱく排泄量は 0.15 g/日以上～2.5 g/日 未満。 (2) 日本腎臓学会の診断基準によって、慢性腎臓病（CKD 病期 3a、3b、4、5）と診断出来る者。 (3) CKD 治療を目的として定期的に外来受診する者。 (4) 病状、病態への説明に対して理解力があると判断でき、改訂ヘルシンキ宣言に則った共同研究者として認識できる者。 ③ 除外基準 以下の者は本研究の対象とすることはできない。 (1) CKD 病期 5 のうち、eGFR が 10 ml/min 以下の者。 (2) CKD 病期 5D の者。 (3) 1 日尿蛋白排泄量が 2.0 g/日以上の方。 (4) 尿沈渣にて 1 視野に 20 個以上の赤血球が認められる者 (5) 禁煙習慣の継続実行できない者 (6) 食事、薬剤による血糖コントロールによって HbA1c 7.5%未満を維持できない糖尿病患者 (7) 血清尿酸値を 7.3mg/dl 以下にコントロールできない高尿酸血症患者 (8) 血清 LDL130mg/dl 以下、中性脂肪 155mg/dl 未満が維持できない高脂血症患者 (9) Fib 4 index 2.0 以上の肝疾患患者 (10) BNP 100pg/ml 以下、NT-proBNP100 以下、EF50 以上、FS30 以上にコントロールできない心不全患者		
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等） リコピン、アシタキサンチン、ケルセチン、コエンザイム Q10、L-カルノシン、フィチンなどを含む抗酸化療法を加味した治療法を追加、継続したところ、腎硬化症に関しては“Stop 慢性腎臓病”という目標に向かって想像以上の既述のような結果を得たとの感想を持つに至っている患者数は 160 名に及んでおり、その臨床経験は下記において、公表してきている。 演題名「Stop 慢性腎臓病をめざす Dr. さなかの治療戦略」として (1) 令和 6 年 11 月 17 日ポートプラザ千葉「第 35 回腎臓病を考える会」にて発表 千葉腎友 173 号に掲載 (2) 食事サポートセンター発行：Stop 慢性腎臓病をめざす Dr. さなかの治療戦略 第 2 号 2024. 4 (3) 食事サポートセンター発行：Stop 慢性腎臓病をめざす Dr. さなかの治療戦略 第 3 号 2024. 7		